

大学教員や学生と地域探究

飯田市を研究対象とする全国の大学連携組織「学輪IIDA」は5月30日、「いいだ高校生ESD塾」を開講した。ESD（持続可能な開発のための教育）をテーマに、地元高校生が大学教員や大学生とともに1年間をかけて地域を学び、探究していく。

長期間にわたり大学の教育に触れ、地域を考える機会をつくることで人材育成につなげようと今年初めて企画した。飯田下伊那地域の4校から12人の高校生が参加する。全国の大学の若手研究

者5人が講師を務め、地域づくり、エコツーリズム、自然保育といった多様な分野で講座を開く。

グループワークやフィールド活動といったユニークなプログラムを定期的に行っていく。

大学生もサポーターとして加わり、大学で学ぶ上で必要とされる「アカデミックスキル」を教え、考える力や伝える力を養う。期間の後半からは地域の探究学習を進

め、来年1月に集大成として活動成果を発表する。

30日に第1回の定例塾（入塾式）を同市東和町のムトスふらぎで開催。高校生全員と都留文科大（山梨県）の大学生7人が参加し、自己紹介をした。

プロジェクトリーダーで同大教養学部地域社会学科の田開寛太郎准教授（37）が塾の狙いを説明。「正解のない問題に向き合う力を育てる学びの場」とし「新しい出会いの中で地域を深く知り、学び合うことを何より大

トピックス

TOPICS

「いいだ高校生ESD塾」開講

切にして、意見を交わしながら見方を広げていってほしい」と呼び掛けた。

後半では大学生がアカデミックスキルのうち「問いの立て方」を教え、グループで飯田の良い点を出し合った後、「もっとこうなったら良くなる」点を考えた。

塾メンバー

の飯田高校2年の宮崎絢穂さん（16）は「探究学習が好きなので参加した。大学生と交流できるのが新鮮」と語り「他校

の高校生とも一緒なのが良く、地域のいろんなことを学びたい」と抱負を述べた。



第1回定例塾で意見を述べ合う高校生たち

ホーム

ニュース

紙面ビューアー

リニア

三遠

全て | 政治・社会 | 経済 | 学校・教育 | スポーツ | 地域の話題 | 文化・芸能 | 医療・福祉 | リ

ホーム > ニュース > 学校・教育 > 大学教員や学生と地域探究「いいだ高校生ESD塾」開講

ニュース

飯田市 学校・教育



大学教員や学生と地域探究「いいだ高校生ESD塾」開講

2025年06月01日(日) 06:01



第1回定例塾で意見を述べ合う高校生たち

飯田市を研究対象とする全国の大学連携組織「学輪IIDA」は5月30日、「いいだ高校生ESD塾」を開講した。ESD(持続可能な開発のための教育)をテーマに、地元高校生が大学教員や大学生とともに1年間を…